

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | | |
|-------|---|---|--|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 市内の多くの小中学生が参加しており、体力向上、健康増進はもとより、スポーツを通して人間形成を図るなど教育的な側面も持っている。また、市民と参加者が交流することによって、地域の活性化を図ることができる。 |
| | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない <input type="checkbox"/> 向上の余地がある | 参加賞に笠間焼、特別賞に地元の特産品を使用するなど地場産業の振興にも寄与している。また、全国から参加者があり、観光のまち笠間市のイメージアップを図るよい機会になっている。 |
| 有効性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》 | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない <input type="checkbox"/> 削減の余地がある | 現行の運営体制が多くのボランティアに支えられて成り立っているため、事業費を削減することは厳しい。しかし、収入面では、今後、経済の活性化等により協賛金を増額できる可能性はある。 |
| | 一次評価結果 | 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り、反省点) 門前通りを走る10kmコースは非常に好評である。また、参加賞の「笠間焼」についても好評を得ており今後も継続していきたい。 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|---|
| ①改革・改善案 コースが全体的に道幅が狭いことや駐車場の台数を考えた場合に参加者数の制限を導入することも検討したい。(現状では、駐車場の関係から4,000名程度が適当と考えられる) |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|---|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく、問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | | |
|------------|----------|--------|---|--|
| 総合評価(担当部長) | 今後の方向性 | 改善し、継続 | | 評価理由 ハーフマラソンの導入について検討するなど、さらなる発展・拡充を目指している。 |
| | 資源配分 | 拡 | 充 | |
| | 部内での位置付け | 上 | 位 | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | | |
|-------|--|---|--|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | <input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある | この大会は、高校生の健全育成、地域の活性化、笠間市のアームレスリングの聖地化を目的に開催しており、実行委員会を中心に行政、関係団体等で運営している。 |
| | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がある | 競技人口が少ないため、多くの参加選手募集が困難な状況である。10回の開催実績を残しており、全国から訪れる高校生の憧れの大会となっている。 |
| 有効性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 | <input type="checkbox"/> 削減の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がある | 競技人口が少ないスポーツの普及を1つの目的としているところがあるため、参加者を増やすための経費(ゲスト謝礼)の支出もあり、運営の見直しにより多少の削減は可能かと考える。地域活性化センターの補助金と参加料により運営している。 |
| | 一次評価結果 | 必要性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り, 反省点) 全国大会であるために競技性が強まり、参加者が伸び悩んでいる一面があるようにも感じられる。生涯スポーツの視野からの大会運営方法などの検討も必要かと思われる。また、競技団体の自主的な取り組みへの方向転換も考慮していく必要があると思われる。 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|----------------------------|
| ①改革・改善案 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|--|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 <input type="checkbox"/> 影響は大きく, 問題の発生が予想される <input checked="" type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|------------|----------|---------|--|
| 総合評価(担当部長) | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 評価理由 地域活性化センターの補助金が平成26年度までとなっているので、その後の運営方法を検討する必要がある。 |
| | 資源配分 | 現状維持 | |
| | 部内での位置付け | 上位 | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | |
|---|--|---|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | 青少年の心身の健全育成、競技力向上を図る上で重要な事業である。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | |
| 有効性評価 | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | 中学1, 2年生を対象に実施する大会で、平成24年度で第50回を数える歴史と伝統のある大会である。県内で同規模の大会は三浜駅伝のみ。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない <input type="checkbox"/> 向上の余地がある | |
| 効率性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 | 体育協会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団など各関係団体の協力やボランティアにより最小限の経費で大会を運営している。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない <input type="checkbox"/> 削減の余地がある | |
| 一次評価結果 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | | 全体総括(振り返り, 反省点) 本年度の参加チームは103チームと過去最高の実績となった、歴史ある大会であり今後も長期にわたり開催していくことが重要である。 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|----------------------------|
| ①改革・改善案 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|--|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく, 問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|------------|----------|---------|--|
| 総合評価(担当部長) | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 評価理由 歴史と伝統のある大会であり、青少年の健全育成、競技力向上を図る重要な事業であるので、今後も継続して実施する。 |
| | 資源配分 | 現状維持 | |
| | 部内での位置付け | 上位 | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | | |
|-------|--|---|---|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | スポーツを推進する組織を育成支援することで、市民スポーツの底辺拡大を図ることができる。また、体育協会加盟団体が競技別の各種事業を開催することで競技スポーツ推進の基盤強化が図られている。 |
| | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がある | 現状においては、加盟団体のすべてが市民を対象にした事業開催をしている状況には至っていないため、工夫により各種事業の開催数の増を図る。 |
| 有効性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》 | <input type="checkbox"/> 削減の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がある | これまでは行政が事務局を行い支援してきたが、体育協会についても独自の事務局を組織し自主運営ができるよう検討している。 |
| | 一次評価結果 | 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り, 反省点) それぞれの加盟団体が市民に対し各種大会等の提供をしており活動は安定してきている。体育協会も独自の事務局を組織し、自主運営の方向に向かうことが一層の発展に繋がると期待される。 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|----------------------------|
| ①改革・改善案 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく、問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|------------|----------|---------|---|
| 総合評価(担当部長) | 今後の方向性 | 改善し, 継続 | 評価理由 現在、スポーツ振興課で事務を行っているので、事務体制を強化し、自立した団体となるように働きかける。 |
| | 資源配分 | 現状維持 | |
| | 部内での位置付け | 上位 | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | | |
|-------|---|---|--|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 生涯スポーツやレクリエーションを中心とした、誰もが気軽に取り組めるスポーツの普及に活躍している。また、指導者としての派遣要請が増えてきており、スポーツ推進委員の職務が浸透してきている。 |
| | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がある | 現在もスポーツ推進委員を中心とした企画事業を行っているが、さらに事業の拡大を図りもっと多くの市民が参加できる事業の実施に期待したい。 |
| 有効性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない <input type="checkbox"/> 削減の余地がある | 現在の活動状況に対して予算は適切な金額である。 |
| | 一次評価結果 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り, 反省点) 生涯スポーツの実施が求められる現在において、スポーツ推進委員活動はその普及の基盤となるものであり、現体制のさらなる強化が期待される。 | |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|----------------------------|
| ①改革・改善案 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|--|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく, 問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|----------------|----------|---------|---|
| 総合評価 (担当部長) | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 評価理由 地域スポーツ振興の推進役であるスポーツ推進委員のコーディネーターとしての役割が一層期待されており、その責務の重要性とともに、活躍の場は今後さらに広がっていく。 |
| | 資源配分 | 現状維持 | |
| | 部内での位置付け | 上位 | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | | |
|-------|--|---|---|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 学校・家庭・地域が互いに連携し、市民のスポーツや生涯学習の振興を図る。 |
| | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない <input type="checkbox"/> 向上の余地がある | 市内21校の体育館、グラウンドをすべて開放しており、なおかつ利用率は100%に近い非常に高い利用率である。 |
| 有効性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない <input type="checkbox"/> 削減の余地がある | 施設のカギの管理に伴う謝金のみであり最低限の金額である。 |
| | 一次評価結果 | 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り, 反省点) ・利用者が多いため同時間帯に2団体の利用など、出来るだけ多くの団体が利用できるように団体間の調整を実施し、効率的な活用となっている。 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|----------------------------|
| ①改革・改善案 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|--|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく, 問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|----------------|----------|---------|---|
| 総合評価 (担当部長) | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 評価理由 生活水準の向上や自由時間の増大等によりスポーツ活動に対する市民の欲求は急激に高まりつつある。これに応えるためには、学校教育に支障のない限り、学校の体育施設の効率的な利用を促進する必要がある。そのため学校体育施設開放事業を推進する。 |
| | 資源配分 | 現状維持 | |
| | 部内での位置付け | 上位 | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | |
|--------|--|--|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 相互に教育、文化、産業、経済など広く交流を図り、友好と理解を深め、相たずさえて発展すること願い姉妹都市を提携しており、スポーツを通して市民交流を行っている。 |
| 有効性評価 | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | |
| | <input type="checkbox"/> 向上の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がある | 体育協会、スポーツ少年団など関係団体を含めた市民レベルでの交流が図られるよう関係団体に働きかけができる。 |
| 効率性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない <input type="checkbox"/> 削減の余地がある | 最小限の経費で運営している。 |
| 一次評価結果 | | 全体総括(振り返り, 反省点) |
| 必要性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 一般参加者を募集しマラソン大会への派遣を行っているが、今後は体育協会、スポーツ少年団など関係団体を含めた市民レベルでの交流が図られるよう関係団体に働きかけが必要である。 |
| 有効性 | <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある | |
| 効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|----------------------------|
| ①改革・改善案 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|--|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく, 問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|------------|----------|---------|---|
| 総合評価(担当部長) | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 評価理由 姉妹都市交流は、一朝一夕に成果を期待するものではなく、継続して実施していく必要がある。 |
| | 資源配分 | 現状維持 | |
| | 部内での位置付け | 上位 | |

平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)

| | |
|-------|---------|
| 所属部課名 | スポーツ振興課 |
| 課長名 | 中野 裕二 |
| 担当者名 | 上野 学 |

【PLAN】事務事業の計画

事務事業番号 8

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----------------------|----------------------------------|---|------|--------|--------|--------|---------|---|----------|-----------|--------|
| 事務事業名 | 水戸ホーリーホック・ホームタウン推進協議会 | | | 評価区分 | 事務事業性質 | 政策的事業 | 補助単独区分 | 所管省庁 | | 実施計画事務事業 | | |
| | | | | 評価事業 | 重要事務事業 | — | | 市単独 | | | 部内優先順位 | 順位 事業数 |
| 総合計画体系 | 政策 | 5.人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕 | | | 新規・継続 | 継続 | 補助率 | | | 共催者・関係団体 | 協議会加盟9市町村 | |
| | 小政策 | 2. だれもが自ら学び、能力を発揮できる環境をつくります | | | 開始年度 | 終了年度 | | | | | | |
| | 施策 | 2. スポーツ・レクリエーション | | | 事業期間 | 平成18年度 | | 単年度繰り返し | | | | |
| | 小施策 | 1. 生涯スポーツの推進 | | | | | | | | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 細目名 | | 関連計画 | | | | | |
| | | | | | | | | 根拠法令 | | | | |
| | | | | | | | | 実施手法 | | 補助金の有無 | | |
| | | | | | | | 直営 | | — | | — | |

| | | | |
|--|---|----------|-----------------------|
| 1 【事務事業の全体概要及び背景】 | 2 【事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 | 3 【年度目標】 | 4 【事業費の内容(決算額)】 |
| 茨城県、水戸市および周辺市町村並びに産業経済団体等と連携を図りながら、水戸ホーリーホックを組織的、広域的に支援することにより、次代を担う子どもたちの夢を育て、地域に根ざしたスポーツ文化を創造する。 | 当年度計画 ・「笠間市の日」に伴うPRとイベントの実施 ・ホーリーホック事務所との各種連絡調整 翌年度計画 ・「笠間市の日」に伴うPRとイベントの実施 ・ホーリーホック事務所との各種連絡調整 ・出資金の支出 | | (予算額) 出資金 500,000円 |

| | | | | |
|--------------|-----------------------------------|----------------------------------|-------|----------------|
| 5 事務事業の目的と手段 | | | | 単位 |
| 目的 | ①対象(働きかける相手・もの) | 市民 | ④対象指標 | 人 |
| | ②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか) | ホームタウン推進協議会構成市町村の住民を中心とした集客向上を図る | ⑤成果指標 | 「笠間市民の日」参加者数 人 |
| 手段 | ③目的を達成するために実際に行った行政活動(サービス) | 「笠間市民の日」による笠間市のPR | ⑥活動指標 | イベント開催回数 回 |

【DO】事務事業の実施

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--------------|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---|--|--|
| 事業費及び指標の推移 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 事業費 | 単位 | 22年度(実績) | | 23年度(実績) | | 24年度(計画) | | 25年度(計画) | | 26年度(計画) | | 27年度(計画) | | 28年度(計画) | | | |
| 投入コスト(インプット) | 事業費 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 県支出金 | 千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 地方債 | 千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | その他 | 千円 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 一般財源 | 千円 | | | | | | 500 | | | | | | | | | |
| | 事業費計(ア) | | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 人件費 | 職員割合 | 人 千円 | 0.20 | 1,500 | 0.15 | 1,125 | 0.15 | 1,125 | 0.15 | 1,125 | 0.15 | 1,125 | 0.15 | 1,125 | 0.15 | 1,125 | | | |
| | 時間外 | 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 嘱託臨時 | 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 他課の協力分 | 千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 人件費計(イ) | 千円 | 1,500 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | | | | |
| トータルコスト(ア)+(イ) | | | 千円 | 1,500 | 1,125 | 1,625 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | | | | |
| 指標区分 | | 単位 | 22年度(実績) | | 23年度(実績) | | 24年度(目標) | | 25年度(目標) | | 26年度(目標) | | 27年度(目標) | | 28年度(目標) | | | | |
| 活動指標 | イベント開催回数 | 回 | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | | | |
| | 対象指標 | 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果指標 | 「笠間市民の日」参加者数 | 人 | | | 309 | | 500 | | 500 | | 500 | | 500 | | 500 | | | | |
| | コスト指標 | 単位 | 22年度(実績) | | 23年度(実績) | | 24年度 | | 25年度 | | 26年度 | | 27年度 | | 28年度 | | | | |
| 「笠間市民の日」参加者一人当たり | | 円 | | | 3,641 | | 3,250 | | 2,250 | | 2,250 | | 2,250 | | 2,250 | | | | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | | |
|--------|---|--|--|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 水戸ホーリーホックを地域の活性化に重要な役割を果たす貴重なスポーツ資源として捉え、地域への浸透、より多くのファンの獲得やホームタウンの機運醸成を図ることにより、加盟市町村のスポーツ振興につなげる。 |
| | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない <input type="checkbox"/> 向上の余地がある | 地域交流事業「笠間市民の日」での笠間市のPRのほか、平成24年度から水戸ホーリーホックアカデミーコーチによる市内の幼稚園・保育所における巡回指導が行われるなど、子どもたちの健全育成を図る事業も展開されるようになった。 |
| 効率的性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない <input type="checkbox"/> 削減の余地がある | 地域交流事業「笠間市民の日」は、水戸ホーリーホック推進協議会の補助金により運営している。 |
| | 一次評価結果 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り, 反省点) 地域にあるプロサッカーチームであり、協議会構成市町村に対しては各種交流事業を提供しており、特に子供たちにとってはプロの試合を観戦したり、選手と直接交流できる機会も創設され貴重な体験の場となっている。 | |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|----------------------------|
| ①改革・改善案 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|--|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく, 問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|------------|----------|---------|--|
| 総合評価(担当部長) | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 評価理由 水戸ホーリーホックが次代の子どもたちの夢を育てるチーム、地域と密着したチームとなっていくには、組織的、広域的なサポートが必要である。 |
| | 資源配分 | 現状維持 | |
| | 部内での位置付け | 上位 | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | | |
|-------|---|--|---|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 笠間市を代表して全国大会や国際大会に出場する個人・団体を支援することにより、競技スポーツの振興と競技力向上を推進する。 |
| | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない <input type="checkbox"/> 向上の余地がある | 全国大会や国際大会において、笠間市の選手および団体が活躍することは、本市のスポーツ振興のみならず、市全体の活性化にもつながる。 |
| 有効性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない <input type="checkbox"/> 削減の余地がある | 出場する大会区分、開催地区分に応じ、個人および団体の奨励金の額が決定する。 |
| | 一次評価結果 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 全体総括(振り返り, 反省点) 笠間市のスポーツ振興を図る上で、市民の手本や目標となる選手・団体への支援は、後の指導者の養成にも発展する可能性があり、有効な制度と考えられる。 | |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|---|
| ①改革・改善案 ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |
|---|

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|--|
| ③前年度の改革・改善案 ④取組状況 |
|--|

その他

| |
|--|
| ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく、問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|------------|----------|---------|---|
| 総合評価(担当部長) | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 評価理由 スポーツへの意欲を高め、競技力の向上を推進するためには、必要な制度である。 |
| | 資源配分 | 現状維持 | |
| | 部内での位置付け | 上位 | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | |
|---|--|--|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | 全国的に次代を担う子どもたちの体力が低下傾向にあり、憂慮すべき状況にあります。このような中、スポーツ少年団は、競技性重視の活動を大切にしながらも、本来の目的である「青少年の健全育成」を目指して活動しています。少子化に伴いスポーツ少年団を取り巻く環境も厳しくなっていることから、育成していくために支援が必要である。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | |
| 有効性評価 | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | 今後、ますます少子化が進む中で、スポーツ少年団の団員確保が難しくなると予想され、活動助成は年々有効性が高くなると判断される。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない <input type="checkbox"/> 向上の余地がある | |
| 効率性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 | 年々、各団の団員数が減少しており、団員1人あたりの負担が増えているなかでは、補助金を削減することはできない。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない <input type="checkbox"/> 削減の余地がある | |
| 一次評価結果 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | | 全体総括(振り返り, 反省点) スポーツ少年団活動は、青少年の健全育成はもとより、将来に向けてスポーツ指導者の拡充などが期待でき、活動の支援と助成を行う必要性は非常に高い。また、今後は、少子化に伴い団員の確保も困難が予想されるため財政的支援は、なお必要になると考えられる。 |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|----------------------------|
| ①改革・改善案 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|--|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく, 問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|------------|----------|---------|--|
| 総合評価(担当部長) | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 評価理由 一人でも多くの青少年にスポーツの喜びをしてもらい、また、スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織として、支援する必要がある。 |
| | 資源配分 | 現状維持 | |
| | 部内での位置付け | 上位 | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

| |
|---|
| 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 |
|---|

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | | |
|--------|--|---|
| 必要性評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 体育施設の不備に起因する事故等は、管理者である笠間市および指定管理者として絶対避けなければならないことであり、安全で安心な施設を市民に提供しなければならない。 |
| 有効性評価 | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない <input type="checkbox"/> 向上の余地がある | 施設ごとに使用頻度や耐用年数を踏まえ、計画的に維持管理を実施していく。 |
| 効率性評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない <input type="checkbox"/> 削減の余地がある | 指定管理者導入施設と直営管理施設の両面での管理を行い5年目となり、円滑な管理体制が整ってきている。 |
| 一次評価結果 | | 全体総括(振り返り, 反省点) |
| 必要性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | 市民の健康増進や余暇活用の一助とするために、日常的なスポーツ施設の維持管理や整備は大変重要な事業である。 |
| 有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | |
| 効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある | |

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|----------------------------|
| ①改革・改善案 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|---|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きく, 問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) |
| 名称 <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|----------------|----------|---------|--|
| 総合評価 (担当部長) | 今後の方向性 | 現行どおり継続 | 評価理由 常に安全で安心な施設を市民に提供するための体育施設管理運営事業は必要である。 |
| | 資源配分 | 現状維持 | |
| | 部内での位置付け | 上位 | |

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
市内の体育館では規模が一番大きく、主軸館であり利用者も多く早期復旧の要望あり。

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

| | |
|-----------------|--|
| 必要性 評価 | ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か？また市民の意向や社会の要請から見て適切か？》 ②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか？実態(社会環境の変化)に合っているか？》 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |
| 有効性 評価 | ③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか？工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか？》 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の施策への波及効果があるか？》 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 向上の余地がない <input type="checkbox"/> 向上の余地がある |
| 効率性 評価 | ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか？(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地がない <input type="checkbox"/> 削減の余地がある |
| 一次評価結果 | |
| 全体総括(振り返り, 反省点) | |
| 必要性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |
| 有効性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |
| 効率性 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある |

笠間市民体育館は市内の体育館の中では一番規模が大きく利用者も多い。スポーツ活動の主軸体育館であり、早期復旧し市民に活動の場を提供する必要性は非常に高い。

【ACTION】事務事業の改革・改善

| |
|----------------------------|
| ①改革・改善案 |
| ②改革・改善案を実現する上で克服すべき課題と解決方法 |

フォローアップ 前年度の課題や問題点

| |
|-------------|
| ③前年度の改革・改善案 |
| ④取組状況 |

その他

| |
|--|
| ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 |
| <input type="checkbox"/> 影響は大きく, 問題の発生が予想される <input type="checkbox"/> 代替案や対策を採ることで対応できる |
| ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) |
| <input type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある(事務事業名・活動名) |
| 名称 <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合や連携はできない・既に連携している |

【PLAN】事務事業の計画

| | | | |
|----------------|----------|--|------|
| 総合評価 (担当部長) | 今後の方向性 | | 評価理由 |
| | 資源配分 | | |
| | 部内での位置付け | | |